



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



2050年 自遊に生きる

暮らしと場所、コミュニケーション、ウェルビーイング

2021.6.21 月 15:00-18:00

会場 オンラインセミナー (Zoomウェビナー)

参加費 無料

申込み方法 WEBよりお申込みください



参加ご希望の方は上記のQRコードを読み込み、WEBサイトよりお申込みくださいませ。

<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/moonshot-workshop>

15:00 ● 開会挨拶

15:05 ● **講演1 神奈川の科学技術イノベーション:未病から「2050年 自遊に生きる」への熱きメッセージ**
牧野義之 氏 | 神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室 室長代理 (オープンイノベーション担当) 兼最先端医療産業グループリーダー

講演2 EQ HouseとArchiphiliaについて
花岡郁哉 氏 | 株式会社竹中工務店 東京本店設計部 アドバンスデザイングループ長

講演3 ブロックチェーンの思想と自遊
加藤明洋 氏 | スタートバーン株式会社 開発部 フロントエンドエンジニア

● 休憩

16:45 ● ムーンショットミレニアプログラムについて

16:55 ● **各チームが考える2050年の未来像**

Flexインフラを考える会



今西 美音子氏

株式会社竹中工務店
技術研究所
研究員

当チームは、多様性が享受され災害にも動じず技術革新や社会変化にも柔軟に対応できる都市・まちを2050年の社会像として掲げ、その実現に必要な、建物等のハードとそれを制御するソフトやセンサーが連携する自律進化型基盤「Flexインフラ」を提案します。研究調査では多様な価値観を俯瞰するためのアンケート調査や国内外の先進事例調査などを通じて、メンバーの各専門視点からこの社会像実現の技術的課題を検討します。

ウルトラダイバーシティ社会 実現チーム



岡田 志麻氏

立命館大学
理工学部
准教授

2050年の社会像として、当チームは「サイバー空間の次世代コミュニケーションインフラ構築によるウルトラダイバーシティ社会の実現」を提案します。本調査研究では、web環境における人の反応や場の空気感・雰囲気といった情報を可視化し、サイバー空間における円滑なコミュニケーションの支援について必要な技術、環境の調査を行います。私たちのチームでは、国内外の小、中、高校生を巻き込んだ多世代で調査を実施します。

Intelligent Living Cell ~究極の個別化医療の実現~



樋口 ゆり子氏

京都大学
大学院薬学研究科
准教授

当チームは、細胞のように機能する非細胞微粒子「Intelligent Living Cell」の開発を通して、個人の遺伝子・タンパク質情報に基づき処方設計された個別化医薬を自宅で調剤、投薬し、治療効果を診断することを可能にする究極の個別化医療実現を提案します。本調査研究では、動物細胞と植物細胞の融合、細胞への外部エネルギーの備蓄と利用、センシング機能の搭載に向けた技術開発と治療応用について調査します。

17:15 ● パネルディスカッション

<共催> 京都大学 大学院薬学研究科・株式会社竹中工務店・立命館大学総合科学技術研究機構

<後援> 国立研究開発法人科学技術振興機構

<お問い合わせ> シンポジウムHPよりお問い合わせください。